



Australian Government  
Department of Immigration  
and Border Protection

# オーストラリアの 暮らし

オーストラリアの価値と原則

## 著作権

© Commonwealth of Australia 2016



紋章を除き、当刊行物の内容は全てクリエイティブ・コモンズ・アトリビューション 3.0 オーストラリア・ライセンス(クリエイティブ・コモンズ・ライセンス)の下で提供されています。

連邦政府では、当刊行物(及び、その内容の一部)の表示は下記の文言での記載が望ましいとみなします。出典:クリエイティブ・コモンズ・アトリビューション 3.0 オーストラリア・ライセンスの下、オーストラリア連邦よりライセンスを受ける。オーストラリア政府は、当刊行物の内容を必ずしも承認するものではない。

紋章の利用に関する条件は、イツ・アン・オナー(It's an Honour)のサイトで確認可能です。

ISBN 978 1 920996 53 6

当刊行物は、オンライン(www.border.gov.au)でも入手いただけます。



通訳シンボルは、ビクトリア州多文化局が連邦及び州・特別地域政府との協力のもと作成した、公共情報に関する全国共通のシンボルです。これは英語力が限られた方々が政府のサービス利用時に言語面での支援を得られる場所を示します。

このシンボルは、政府や地域社会の情報やサービスを提供する場所、例えば公立病院、警察署、公立学校、コミュニティセンター、住宅や雇用関連のオフィス、地方自治体、移民支援センターなどで目にされることがあるでしょう。

通訳シンボルは、2006年5月にビクトリア州で公式に導入されました。

## 目次

背景情報 .....	4
オーストラリア価値表明書 .....	4
暫定ビザ及び永住権申請者用オーストラリア価値表明書 .....	5
一時滞在ビザ申請者用オーストラリア価値表明書 .....	5
オーストラリアの価値と原則 .....	7
基本的自由 .....	7
個人の価値の平等と尊厳と自由の尊重 .....	7
言論の自由 .....	7
信教の自由と政教分離 .....	8
結社の自由 .....	8
議会制民主主義と法の支配の支持 .....	8
法の下での平等 .....	8
男女平等 .....	8
機会均等と平等主義の精神 .....	9
平和的であること .....	9
共通の価値 .....	9
今日のオーストラリア社会 .....	10
法と社会慣習 .....	10
人格要件 .....	10
オーストラリアの職場での権利 .....	11
より詳しい情報 .....	11

## 背景情報

本書は永住者として、または一時滞在者としてオーストラリアで暮らすためのビザを申請される方々を対象にしており、オーストラリアの概略、歴史、暮らし方と、私たちが共有する価値がまとめられています。

対象のビザ申請の際に、18歳以上の申請者はオーストラリアの価値を尊重し、その法律に従うことを示すためにオーストラリア価値表明書(Australian Values Statement)に署名する必要があります。

オーストラリアの価値には、下記が挙げられます。

- 個人の価値の平等と尊厳と自由の尊重
- 言論の自由
- 信教の自由と政教分離
- 結社の自由
- 議会民主主義と法の支配の支持
- 法の下での平等
- 男女平等
- 機会均等
- 平和的であること
- 寛容さ、相互尊重、困っている人への思いやりなどの平等主義の精神

これらの価値は、人それぞれ異なる表現で言い表されるかもしれませんが意味は変わりません。これらはオーストラリアに固有のものではありませんが、幅広く地域に認められ、オーストラリアの社会と文化を裏打ちしています。

価値表明書は、ほぼ全てのビザの申請用紙に質問か宣誓の形で含まれています。

申請用紙の価値表明書に署名する前に、暫定ビザ、永住ビザ、一部の一時滞在ビザの申請者は全て、オーストラリア政府の提供する価値に関する情報を読むか、説明を受けている必要があります。下記の情報は、ビザ申請者が価値表明書に署名する前に、オーストラリアの価値を理解する手助けをすることを目的としています。

## オーストラリア価値表明書

暫定ビザ、永住ビザ、一部の一時滞在ビザの申請者は全て、オーストラリア政府の提供するオーストラリアでの生活に関する情報を読むか、説明を受けている必要があります。また、申請者は後日オーストラリアの市民権の申請を行う場合に、どのようなことが義務付けられているかを理解することが求められています。この表明書は、該当のビザの申請用紙に含まれており18歳以上の申請者は全て表明書に署名する必要があります。

# 暫定ビザ及び永住権申請者用オーストラリア価値 表明書

18歳以上の方はこの表明書に署名しなければなりません。

私は、オーストラリアの社会と価値についてオーストラリア政府が提供した情報を読んだことを、あるいはその説明を受けたことを認めます。

私は次のことを理解しています：

- オーストラリア社会は、個人の自由と尊厳の尊重、信教の自由、法の支配原則の堅持、議会制民主主義、男女平等、相互尊重、寛容さ、公平な態度、困っている人への思いやり、公益の追求を大切にする平等主義の精神を重視します。
- オーストラリア社会は個人の人種、宗教、民族的背景にかかわらず、個人の機会の平等を重視します。
- 英語は公用語として、オーストラリア社会を結束させる重要な要素です。

私はオーストラリア滞在中、これらのオーストラリア社会の価値を尊重し、オーストラリアの法に従うことを約束します。

私がオーストラリア市民権の取得を求める場合には、次のことを理解します：

- オーストラリア市民権とは共有のアイデンティティであり、多様性を尊重しながら全オーストラリア人を結びつける共通のきずなです。
- オーストラリア市民権には、権利とそれに付随する責任が伴います。オーストラリア市民権の責任には、オーストラリアの法に従うことが含まれ、これには選挙での投票や陪審員を務めることも含まれます。

私がオーストラリア市民権取得の法的資格を満たし、私の申請が承認された場合には、私はオーストラリアとその国民への忠誠を誓わなければならないことを理解しています。

インターネットによる申請については、ビザ申請者本人がこの価値表明書に同意するか否かを示す yes か no のボタンを選ぶよう求められます。申請に 18 歳以上の扶養家族が含まれる場合には、表明書に次の段落が加わります：

本申請に含まれる 18 歳以上のその他の者は全員、オーストラリア政府がオーストラリアの社会と価値について提供した情報を読み、もしくはその説明を受け、上記表明書に同意すると私に伝えました。

この場合には、申請者は自分自身と扶養家族に代わり表明を行っていることとなります。

## 一時滞在ビザ申請者用オーストラリア価値表明書

該当する一時滞在ビザ申請者も、オーストラリア価値表明書に署名しなければなりません。これは申請書の宣誓セクションに含まれているため、申請用紙に署名することにより価値表明書にも署名したことになります。これらの申請者には本書を読むことは義務づけられていませんが、希望される場合にはご一読ください。

次のオーストラリア価値表明書は、ほとんどの一時滞在ビザ申請用紙に含まれています：

私はオーストラリア滞在中、この用紙に記載されているオーストラリアの価値を尊重し、オーストラリアの法に従います。

インターネットによる申請の場合には、表明書は次のようにわずかに異なります：

私はオーストラリア滞在中、本申請の始めに記載されているオーストラリアの価値を尊重し、オーストラリアの法に従います。

インターネットによる申請で 18 歳以上の扶養家族がいる場合には、表明書に次の段落が追加されます：

本申請に含まれる 18 歳以上のその他の者は全員、この要件に合意すると私に伝えました。

申請者は自分自身と扶養家族(該当する場合)に代わり、価値表明書の宣誓に同意するか否かを示す yes か no のボタンを選ぶよう求められます。

# オーストラリアの価値と原則

特定の項目に関する更に詳しい情報は、出典に示されている関連ウェブサイトないし原資料にてご確認ください。

オーストラリアの価値や原則は多くの国とある程度共通するものですが、世界中から何百万人もの人々がオーストラリアに移住する中でオーストラリア独自の環境に適応し、形作られ、現代化してきました。人により表現の仕方は違うかもしれませんが、これらの価値や原則の意味は同じものです。

オーストラリアの最初の住人は、アボリジニの人々とトレス海峡諸島民で、彼らのユニークな文化と伝統は世界で最も古い伝統文化の一つです。最初の移民は、ほとんどがイギリスとアイルランド出身で、このアングロ・ケルトの伝統がオーストラリアの歴史、文化、政治的伝統に大きな継続的影響を及ぼしました。その後の移民の波では、アフリカ、アジア、南北アメリカ大陸、ヨーロッパからの人々が到着しましたが、これらの移民は全て、オーストラリアとその暮らし方にそれぞれ独自の貢献をしています。

共通の価値や原則の表明は、全ての人に同じ信念を持たせ、全ての人を同じにすることを目的としているわけではありません。これは、新しい居住者が安定していると同時に活力に満ち、多様でありながらも結束した社会を築いていく上で必要な基本的な価値を理解するためのものです。

オーストラリアには多くの自由がありますが、それらの自由の行使は、規律ある自由で安全な社会の維持のために民主的に選出された政府が制定したオーストラリアの法に全ての人々が従うということが、前提条件となっています。

## 基本的自由

全てのオーストラリア人には(法の許す範囲で)多くの基本的自由が認められており、これには、自由かつオープンな発言、団体への加入、集会の開催、自分の選んだ宗教の信仰、オーストラリア国内の無制限の移動などが含まれます。

## 個人の価値の平等と尊厳と自由の尊重

全てのオーストラリア人は自由かつ平等であり、互いに尊厳と尊重を持って接することが求められています。オーストラリア人は、社会における争いの解決法として暴力、脅迫、屈辱を使うことを拒否します。

連邦法は、広範な社会生活の領域において人種、性別、障害、年齢を理由とする差別を、1975年人種差別禁止法(Racial Discrimination Act 1975)、1984年性別差別禁止法(Sex Discrimination Act 1984)、1992年障害差別禁止法(Disability Discrimination Act 1992)、2004年年齢差別禁止法(Age Discrimination Act 2004)に基づき禁じています。これらの法に基づいた不満や訴えには、オーストラリア人権委員会(Australian Human Rights Commission)が対応します。

リンク:[オーストラリア人権委員会\(Australian Human Rights Commission\)](#)

## 言論の自由

全てのオーストラリア人は、人を危険にさらしたり、偽りの主張をしたり、他人の言論の自由を妨害しない限り、オーストラリアの政府について、またいかなる話題や社会問題についても自分の思うところを法の許す範囲で自由に発言したり、書いたりすることができます。

これはオーストラリアの新聞、ラジオやテレビ、その他のメディアにも適用されます。オーストラリア人は政府の活動に自由に抗議することができ、法を変更するためのキャンペーンも自由に行えます。

言論の自由は、人々が自分自身を表現したり、考えを話し合ったりできるようにするものです。オーストラリアには、個人の名譽を虚偽の情報や嘘から守る法律があります。また、文化や民族、素性を理由とする、他者への憎しみの煽動を禁じる法もあります。

## 信教の自由と政教分離

全てのオーストラリア人は、当該宗教の実行がオーストラリアの法に反しない限り、自分の選んだ宗教を自由に信仰することができます。オーストラリア人には、宗教を信仰しない自由もあります。オーストラリアの社会では宗教の不寛容は認められません。

オーストラリアの政治は宗教と分離しており、公式宗教も国家宗教もありません。政府は宗教とは無関係に全ての国民を平等に扱います。

宗教上の法や戒律は、オーストラリアでは法として認められず、例えば離婚に関する事項には国会が制定した法律だけが適用されます。一部の宗教上・文化上の慣習、例えば重婚(同時に複数の人と結婚していること)は、オーストラリアでは法に反した行為です。

## 結社の自由

法の範囲内において、オーストラリア人は自由に集会を開くことができ、政府やその他の組織に抗議することも自由ですが、抗議は平和的に行われなければならない、また人や物に損害や傷害を与えることは許されません。結社の自由には、組織が合法であることを条件として、組織やグループへの加入、または非加入の自由も含まれます。このような組織には政党、組合、社会団体などが含まれます。

## 議会制民主主義と法の支配の支持

オーストラリアは議会制民主主義です。これは、国がどのように統治され、オーストラリア社会がどのように代表されるかの決定プロセスにオーストラリア国民が参加することを意味します。政府は、全てのオーストラリア人に対して説明責任を負います。選挙で選ばれた議員で構成される議会は、法の制定や、法の制定権限の委譲ができる唯一の機関です。

オーストラリアでは、誰もが政府の制定した法に従わなければなりません。同様に、全てのオーストラリア人は法の支配による保護を受けます。これは、政治家や警察など権力を有する立場であっても法の適用を受けずに済んだり、免除されたりすることはないという意味です。

## 法の下での平等

全てのオーストラリア人は法の下で平等です。これは、人種、出身民族や出身国、年齢、性別、婚姻関係、障害、政治や宗教上の信念を理由に、いかなる人も他と異なる扱いを受けるべきではないという意味です。政府官庁や独立した裁判所は、いかなる人も公平に扱わなければなりません。

同等に扱われるという意味は、就職や昇進が各自の技能、能力、経験に基づくべきであり、文化的背景や政治的信念に基づくべきではないということです。また、人種、肌の色、宗教、性別、婚姻関係を理由に、店やホテル、その他のサービス施設でサービスを断ることはできないという意味でもあります。

## 男女平等

オーストラリアでは男女は平等な権利を有します。仕事や職業の募集は男女両方に平等で、兵役にも男女両方が就くことができます。政府の職にも男女ともに就くことができます。



## 機会均等と平等主義の精神

オーストラリア人は機会均等と、「フェア・ゴー (fair go)」と言われる公平の精神を重視します。これは、個人が人生で達成する事柄は、その人の才能や仕事、努力の結果であるべきで、その人の生まれやえこひいきによるべきではないという意味です。

オーストラリア人には、相互尊重、寛容さ、フェアプレーを大切にする平等主義の精神があります。これは、誰もが同じであるとか、誰もが等しい富や財産を持つという意味ではありません。これは、オーストラリア社会に公式な階級区別がないようにすることを目的としています。

## 平和的であること

オーストラリア人は自らの平和的社会を誇りにしています。また、話し合いや平和的な説得、民主的プロセスにより変化は生じるべきだと信じており、人の心や法律を変える手段として暴力を使うことを拒否します。

これらの価値に加え、オーストラリア人は公共の利益や困っている人への思いやりも重視します。オーストラリアには強い共同体意識があり、自分たちが住む社会の向上と改善に努めます。

多くのオーストラリア人は日々の生活の中で社会に貢献しています。公共の利益を考え、環境保全によりこれを示す人もいれば、必要な時に手助けをしたり、一緒に協力したりすることで社会に貢献する人もいます。

オーストラリアには「メイトシップ (mateship)」という強い仲間意識の伝統があり、人々が特に困っている人を自発的に助ける意味があります。仲間 (mate) とは友人であることが多いですが、配偶者やパートナー、兄弟姉妹、娘や息子であることもありますし、全く知らない人である場合もあります。また、社会奉仕やボランティア活動を行う強い伝統もあります。

上に述べたような様々な価値は、長年に渡りオーストラリア人が促進し、話し合ってきたものです。これらの価値は、民族的に多様で、文化的伝統も異なる何百万人もの人々をオーストラリアが温かく迎え入れ、人々が社会にうまく溶け込む手助けをしてきました。

オーストラリアの文化的多様性はダイナミックな社会を作り出す長所の一つです。法の枠組みの中で、オーストラリア人は誰でも自分の文化や信念を表現する権利を有します。

ただし同時に、全てのオーストラリア人は、オーストラリアを、つまりオーストラリアの法、価値、国民を最優先させることが求められます。

## 共通の価値

オーストラリアの移民の文化背景や宗教は多様ですが、移民たちはオーストラリアでの生活に落ち着き、より広い社会に溶け込んでいます。一方で、移民の貢献によってオーストラリアは、社会的、文化的、経済的に豊かになってきました。

今日のオーストラリア社会の重要な特徴は、国民の文化的多様性だけでなく、オーストラリアを最優先させるという結束力のある約束による人々の団結度に現れています。

オーストラリア人は個々の違いよりも、隣人として共存する利益を優先させます。

オーストラリアの法の枠組みの中で、全てのオーストラリア人は自分の文化や信念を表現し、オーストラリアの国民生活に自由に参加する権利を有します。同時に、ここに紹介されているようなオーストラリアの暮らし方を支える原則や共通の価値を支持することが求められます。

## 今日のオーストラリア社会

今日のオーストラリア社会を定義づける特徴の一つは、国民の文化的多様性と、オーストラリアを最優先させるという結束力のある約束による人々の団結度に現れています。

もう一つの決定的な特徴はオーストラリア社会の平等主義です。これは誰もが同じであるとか、誰もが平等な富や財産を持つという意味ではありません。これは、懸命に働き、何事にも責任を持って取り組めば、有力な人間関係や影響力のある支援者がなくとも成功できるという意味です。

オーストラリアの法の枠組み内で、全てのオーストラリア人は自分の文化や信念を表現することができ、オーストラリアの国民生活に自由に参加することができます。オーストラリアは、出身国や出身文化、言語、性別、宗教上の信条を理由に、いかなる人も不利な立場に置かれるべきではないという揺るがない信念を持っています。

安定して平和な、繁栄した社会を維持するために、民族・文化背景に関わらず全てのオーストラリア人が、オーストラリア社会を支える共通の原則と価値を支持することが求められます。

## 法と社会慣習

オーストラリアの社会は、公式な法と非公式な社会慣習の組み合わせによって管理されています。

全てのオーストラリア人は、オーストラリアの法律に従わなければならない、従わない場合には刑事・民事訴追を受ける可能性があります。また、一般的に人々はオーストラリアの社会慣習や習慣、慣行に従うことも期待されますが、これらに法的強制力は通常ありません。

オーストラリアの法律はオーストラリア連邦、州、特別地域の議会により制定されます。警察は、社会の平和と秩序を維持し、法に反したと考えられる者を裁判にかけられることを職務としています。地域社会や地元社会でも、人々は問題があった時にはお互いに助け合い、変わったことや不審なことがあった時には地元の警察署に通報します。

オーストラリアには、オーストラリア連邦警察 (Australian Federal Police) と呼ばれる国家警察があり、薬物取引や不法移民、国の安全を脅かす犯罪や環境犯罪など、連邦法上の犯罪を捜査します。各州と北部特別地域には、州法や特別地域法に基づき犯罪を扱う独自の警察があります。オーストラリア首都特別地域では連邦警察が治安維持を行っています。

警察官は人々を逮捕し、裁判で証拠を提出しますが、有罪かどうかを最終的に決定する立場にはありません。これは裁判所が行います。

オーストラリアでは、警察と社会は良好な関係にあります。人々は、犯罪を通報したり、警察の助けを求めたりすることができます。警察から職務質問をされた場合には、穏やかな態度を保ち、礼儀正しく、協力的にしましょう。

## 人格要件

オーストラリアの社会は、全てのビザ保持者がオーストラリアの法に従い、常にビザの人格要件を満たしていることを期待します。刑事上の有罪判決を受けた人や、非合法モーターサイクル・ギャングやテロ組織などの犯罪組織と関わりがあると見なされる人、オーストラリア社会全体やオーストラリア社会の一員に危害を与えるリスクがある人のビザは取り消される可能性があります。

ビザの取り消しを受けた人は、拘束され、オーストラリアから退去させられる可能性があります。また、多くの場合、永久的にオーストラリアに戻ることはできなくなります。

## オーストラリアの職場での権利

オーストラリアで働く人々は、ビザがスポンサーされているか否かに関わらず、職場での権利と保護を有します。これらを契約によって奪うことはできません。

最低賃金と職場環境の水準は、オーストラリアの法により定められています。

オーストラリア・フェアワーク・オンブズマンのビザ保持者と移民向けウェブページでは、就業前に知っておくべきこと、また賃金率や休暇の取り決め、従業員に与えられる権利に関する情報が載っています。

**リンク:** [ビザ保持者と移民](#)

フェアワーク・オンブズマンは、職場での権利や義務に関する更に詳しい情報やアドバイスを提供しており、職場関連情報を多くの言語に翻訳しています。

**リンク:** [フェアワーク・オンブズマン](#)

## より詳しい情報

### 移住関連

詳細は、[社会サービス省\(DSS\)のウェブサイト](#)にてご確認ください。

[オーストラリアで生活を始める](#)と題する小冊子も社会サービス省のウェブサイトで購入いただけます。  
(英語の他、37言語に翻訳)

ほとんどの一時滞在ビザの場合は、申請用紙の一般宣誓セクションに価値表明書が含まれています。現在オーストラリア国外から人道支援ビザを申請中の方は、面接時に価値表明書に署名をする必要があります。これらの申請者には、面接時に内容の説明がされるので、[上記のリンクの情報](#)を読むことは求められていません。オーストラリア国外からの人道支援ビザ申請者の多くが直面している厳しい状況を考慮して、このような異なるプロセスが取られています。

国外人道支援プログラムの下で認可を受けた方々には、オーストラリアに出発する前にオーストラリア文化適応プログラム(AUSCO)への参加が推奨されています。当プログラムは、オーストラリアへの移動と転居後の生活に関する情報を提供しており、アジア、アフリカ、中東の多数の場所で行われています。

オーストラリア価値表明書への同意を必要としないビザが少数ですがあります。これらには、下記が含まれます。

- 観光ビザ
- レジデント・リターンビザ保持者やその申請者を含む、特別カテゴリービザでオーストラリアへ入国をするニュージーランド市民権保持者